

## 植物活力資材

### 『ジャックスパワー』の導入事例紹介

～エダマメの着莢促進、収量アップに効果抜群！～

雪印種苗(株)  
畑作園芸本部 営業課

埼玉県川越市の東種苗園（社長岸野勲氏）では、弊社が豆類向けに開発した活力資材『ジャックスパワー』をエダマメ生産者の方々に推進されており、今回東種苗園を通じてジャックスパワーをエダマメにご使用いただいている生産者の様子を取り上げていただきました。



▲ 加藤さんと東種苗園社長

#### 1) 加藤 浩さん（川越市）

川越市の加藤浩さんは当地で20年以上に渡りエダマメ栽培をおこなう大ベテランで、近年ダイコン、コマツナ、モロヘイヤなどと組み合わせて栽培をおこなっています。直播や移植を組み合わせて、トンネルマルチから露地栽培まで40aほどの作付けをおこない、近隣の生産者と一緒に生協などへ出荷しています。ジャックスパワーは散布労力軽減を図るため、殺虫剤との混用で開花期に2回散布をおこなっています。加藤さんのエダマメ作りのコツは

肥料設計、開花期防除のタイミングと水管理とのことで、これらとジャックスパワーを組み合わせることで着莢効果を実感しつつあります。

#### 2) 見沢 保さん（所沢市）

所沢市の見沢保さんはエダマメの栽培を始めて5年目で、最初は8aから

スタートし、現在は播種期、移植期をずらしながら80aまで家族3名で面積を拡大してきました。ジャックスパワーは今年を含め3年間使用していただいております。やはり殺虫剤との混用などで労力の軽減を図りながら開花期の2回散布をおこなっています。

ジャックスパワーを使用して着莢を良くするためには、開花期に2回散布する必要があります。各作型の開花始めを注意深く観察し、散布するタイミングを見極めることに注意を払っています。今年は4月に2回ほど比較的強い降霜のため、その影響を心配されていましたが、訪問時は収穫を数日後に控え、見沢さんのモットーである安全・安心なエダマメの出来を楽しみにしております。



▲ 見沢さんと東種苗園社長

#### 3) 斉藤寿美恵さん（川越市）

川越市の斉藤寿美恵さんは息子さん夫婦と3名で水田の他にエダマメのハウス栽培を中心に60a程栽培してお

り、ジャックスパワーは昨年から殺虫剤との混用を行いながら開花期の2回散布（尚、2回目は1回目の散布から1週間後を目安に散布）をおこなっています。また本誌2006年秋冬野菜特集号でも特集記事で紹介しましたアミノ酸液肥「SS-374」を合わせて使用しており、他にもカルシウム資材、有機質入り肥料などエダマメ、そして土に負荷をかけない肥料を組み合わせています。斉藤さんは収量・品質が良いことで農家も喜ぶ、そして味が良いエダマメを届けることで消費者にも喜んでいただくことを目指し、今年も着莢の良いエダマメで収穫期を迎えることができましたと評価をいただいております。



▲ 斉藤さんと東種苗園社長

今回、生産者をご紹介いただきました東種苗園岸野社長、また聞き取りをさせていただきました生産者の皆様には誌面を借りて深く御礼申し上げます。ご使用いただきました植物活力資材ジャックスパワー水溶タイプはエダマメの他にインゲン、ソラマメ、大豆、小豆など豆類全般に幅広くご利用が可能です。詳しい使い方は弊社までお問い合わせください。

スノーグローエース・ジャックスパワー (種苗シリーズ)

SS-374 アミノ酸液肥 (保証成分N3%、P3%、K2%)

スノーグローエース・ジャックスパワー (植物活力資材)

作物のストレス時に必要なアミノ酸II遊離型プロリシンを高含有!

エダマメの着莢には低温注意です!!!

# ジャックスパワー

収量アップはまず落莢防止=着莢促進から

どうして落莢するの?

えだまめを始め、まめ科作物は開花後、サヤを大きくするためにすごいパワーが必要です。そのパワーは種で作られる「サイトカイニン」ですが、サヤが大きくなる時に低温などのストレスにより根の発達が悪いと、サイトカイニンがサヤに送られなくなり、サヤがごく小さい時にポロッと落ちてしまいます。それを補うのがジャックスパワーです。

ジャックスパワーの散布の基本は開花期です。

ジャックスパワーは水溶タイプの粉末で100gで一袋です。

えだまめに対するジャックスパワー施与方法 (試験基準)

処理時期	えだまめ	
	開花初期	開花中期 (着莢盛期直前の7-10日後)
使用量	100g/水100ℓ/10a (1000倍希釈)	100g/水100ℓ/10a (1000倍希釈)
効果	着莢促進	着莢促進

【注意】一畝での散布水量に変更のある場合は、1000倍希釈が基準です。  
- 農薬との混用は必ず事前に試験できますが、サンダーファンC水剤、アズメカボルドー水剤などと混用可能期間との混用はできません。

畑作園芸本部 営業課 043-241-0203